

教科目名 経済学概説 (Economics)

学科名・学年 : 全学科 4年 (教育プログラム 第1学年 ○科目)

単位数など : 選択必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間 45時間)

担当教員 : 石井まこと

授業の概要			
経済学は人類を貧困から解放する学問として発達し、社会の発展に多大な影響力をもっている。一方で、経済発展のなかで新たな格差や貧困も起きている。こうした経済社会問題の根底にある現代の資本主義システムについて、可能な限り平易にその仕組み等を解説していく。			
達成目標		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)	
○ マスメディアで話題になる経済問題を資本主義システムの問題として分析できる。 ○ 経済問題解決のために使用されている経済学の諸理論を理解できる。 ○ 経済学の諸理論について、その長所と短所を理解できる。 ○ 資本主義の仕組みが歴史的に発展してきたことを理解できる。			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	資本主義とは何か 資本主義と社会主義 経済学者の資本主義観(1) 経済学者の資本主義観(2) 私有財産制と商品生産 貨幣の成立・機能 労働・雇用と企業	○ 資本の運動と経済活動が連動していることを理解できる ○ 資本主義の対極にある社会主義経済と比較して、その特徴を理解できる ○ スミス、マルクス、ケインズ等の著名な経済学者の資本主義観を理解できる ○ 資本主義の基本要素について理解できる	【理解の度合い】
8 9 10 11 12 13 14	前期中間試験 前期中間試験の解答と解説 銀行と株式会社 土地所有・階級・国家 再生産と価値 利潤 貨幣経済の特徴(1) 貨幣経済の特徴(2)	○ 銀行、株式会社の基本的な機能を理解できる ○ 土地所有・階級・国家の形成と経済の関係について理解できる ○ 資本の運動とともに価値が増加する仕組みを理解できる ○ 貨幣経済の特徴について理解できる	【試験の点数】 点 【理解の度合い】
15 16 17 18 19 20 21 22	前期期末試験 前期期末試験の解答と解説 世界市場の形成 産業革命以降の資本主義 19世紀経済システム 20世紀経済システム(1)-生産体制 20世紀経済システム(2)-金融 20世紀経済システム(3)-福祉 20世紀経済システム(4)-環境	○ 資本主義経済の発展史に沿って、経済の仕組みを理解できる ○ 19世紀的経済と20世紀以降の経済社会の違いを理解できる ○ 今日の雇用・福祉・環境問題の原因・対策について大局的に理解できる	【試験の点数】 点 【理解の度合い】
23 24 25 26 27 28 29 30	後期中間試験 後期中間の解答と解説 資本主義の多様性 日・独・米の差異(1)-生産体制 日・独・米の差異(2)-労使関係 日・独・米の差異(3)-福祉制度 経済的優位な資本主義モデル 発展途上国の資本主義 後期期末試験 後期期末試験の解答と解説	○ 資本主義システムが国によって異なっている事を理解できる ○ 日本・ドイツ・米国の3国を例にして、高度に発達した資本主義の多様性について理解できる ○ 発展途上国の資本主義発展について理解できる	【試験の点数】 点 【理解の度合い】
履修上の注意		教科書は毎回必ず持ってきてください。	【総合達成度】
教 科 書		八木紀一郎・宇仁宏幸『図解雑学 資本主義のしくみ』ナツメ社	
参 考 図 書		必要に応じて、講義中に紹介する。	
関 連 科 目			
評 価 方 法		4回の試験で評価する。 総合評価(4回の定期試験の平均点)を行う。 総合評価が60点以上を合格とする。	【総合評価】 点